

あいおい損保、野村総合研究所の支援を受け個人情報漏えい対策強化へ

～ 損保業界初、生体認証を導入したセキュリティレベルの高いPC利用環境を構築 ～

2005年6月29日

あいおい損害保険株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:児玉正之、以下「あいおい損保」)は、株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、社長:藤沼彰久、以下「NRI」)の技術支援を受け、社員が業務で利用するクライアントPCに対しての個人情報漏えい対策を実施します。2005年10月より順次社内へ展開し、2005年度中に6千台、最終的に1万2千台を超えるクライアントPCへ導入する計画です。

あいおい損保では、今年度、個人情報保護法の遵守を基本とした個人情報漏えい対策を経営上の重要課題と位置づけ、業務システムの認証強化や社外とやりとりするデータの保護など多面的に取り組む計画です。とりわけ、クライアントPCの利用に関するセキュリティ強化については、業界で初めてPCの起動に全面的に生体認証を導入するほか、操作ログの取得、ハードディスク全体の暗号化によるデータ保護などを柱とした対策を実施します。

NRIは、あいおい損保のセキュリティ要件に基づき、PCの利用者認証にソニー株式会社(本社:東京都品川区、社長:中鉢良治)の生体認証装置「PUPPY」、操作ログの取得、ハードディスクの暗号化にNRIセキュアテクノロジーズ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:寺田洋)の「SecureCube / PC Check」などを用い、セキュリティレベルの高いPCの利用環境を構築します。またあいおい損保では、NRIの「オブジェクトワークス」を開発・実行基盤に採用している新基幹業務システムとPUPPYを連携させることで、基幹業務システムへの利用権限制御などのセキュリティ強化を図っていく計画です。

あいおい損保は、生体認証製品を選定する際、とりわけ生体情報を取り扱う上での安全性の高さを厳しく見極めました。今回採用を決定したPUPPYは、指紋情報を暗号化して認証装置本体に格納し、情報が外部へ流れることはありません。またPUPPYでは、指紋検出に1cm×1.5cm大の平面センサーを用いています。認証はこのセンサーの上に指を置くだけでよく、こうした操作性の良さは、全社員への導入を図る上での教育や支援にかかる負荷も抑制できると考えています。

以上

本件は、NRIから、「情報通信記者会」「兜倶楽部」へも同時にリリースしております。

商標について

「オブジェクトワークス」は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。
「PUPPY」は、ソニー株式会社の商標です。
「SecureCube」は、NRIセキュアテクノロジーズ株式会社の登録商標です。
また記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

